



エンタープライズ版 プロフェッショナル版 落差工の設計Ver. 3 for Windows



特 徴

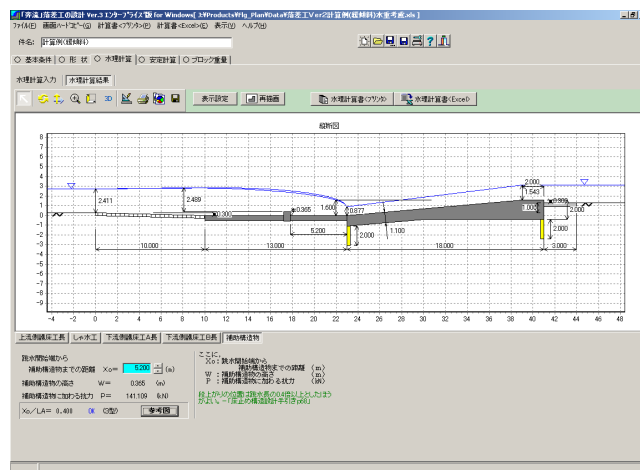
- 床止めの構造設計手引き・土地改良事業計画の2手法による護床工の長さの検討が可能
- 出力書類(計算書, 縦断面図, 横断面図)をExcel*ファイルへ出力
- 水理計算+安定計算+断面算定で一貫した設計が可能
- 安定計算・断面算定で任意の水平荷重を考慮可
- 専任の土木技術者並びにシステムエンジニアの電話サポートにより問題点が即解決
(eメールでメンテナンスに必要な計算データを送信できます)

仕 様

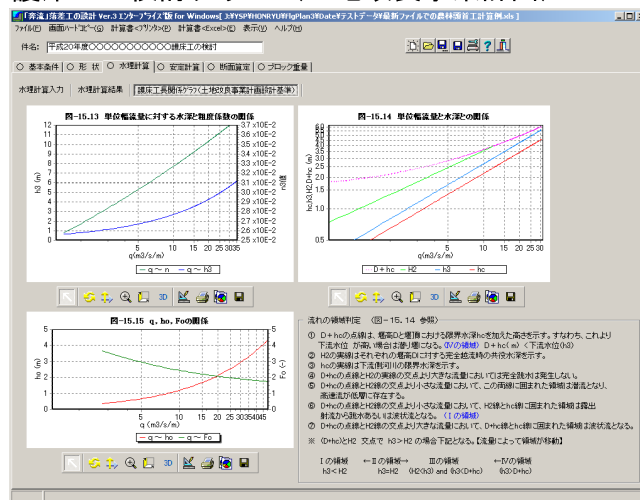
対 応 基 準	・H 10年 床止めの構造設計手引き 国土開発技術研究センター編 ・H 7年 土地改良事業計画設計基準・設計「頭首工」 ・H 9年 建設省河川砂防技術基準(案) ・S 60年 土木学会水理公式集/計算集 ・H 11年 土木学会水理公式集		
水 理	検 計 種 別	・直壁型 ・緩傾斜型	
	補助構造物の種類	・エンドシル、段上りが設定可能	
	検 計 項 目	・上流側護床工長さ (m) ・水叩き長さ(W) (m) ・根入れ長 (m) ・下流側護床工A長さ (m) ・下流側護床工B長さ (m) ・補助構造物の検討 (m) ・補助構造物に加わる抗力(P) (KN) ※土地改良事業計画による護床工の検討が可能 ※任意の水平集中荷重を考慮可	
	限界水深計算	・Bresse(ブレス)の方法 ・井田の合計径深を用いる方法	
設 計	フルード数計算	・水理学的水深を用いる方法 ・最深部の水深を用いる方法 ・井田の合計径深を用いる方法	
	河川断面形状	・自然河川任意多角形(座標値入力) ・定型断面入力可能(台形, 矩形)	
計 算	河川断面形制	・断面座標数 180 ・粗度係数変化数 50 ・流速変化ブロック数 50 ・樹木指定ブロック数 50	
	成 果 品 (Excel出力)	・水理計算書 ・縦断面図 ・横断面図 及び 水理諸表 ・安定計算	
構 造 設 計	検 計 項 目	1) 水叩き厚さ(d) 2) 護床工の最小ブロック重量(W) 3) 落差工本体 断面算定(直壁型のみ) 1) たて壁基部 2) 水叩き基部 ※許容応力度法による	
	成 果 品	・各安定計算書 ・落差工本体の断面算定計算書 ・Microsoft Excel*ファイル(ブック)形式で入出力可 ・落差工の水理設計Ver.1・Ver.2のデータを読み取り可能	
デ ー タ	O S	Windows2000/XP/VISTA	
ハ ー ド ウ ェ ア	各社PC/AT互換(DOS/V)	1024×768ドット以上のグラフィック機能 3.5インチ2HD(1.44MB)が読込可能なフロッピーディスクドライブ(スタンドアロン版)CD-ROMドライブ USBポート(USB版でサーバーとなるパソコンに必要)	
必 要 メ モ リ	128MB以上		
ハードディスク空き容量	50Mバイト以上必要		
ネットワーク対応USB版	サーバにUSBキーを差し込み、各クライアントマシンにアプリケーションプログラムをインストール後プログラムを起動(ライセンス数だけ同時起動が可能)		

入出力画面

● 緩傾斜の護床工検討画面



● 護床工の検討グラフ(土地改良事業計画)

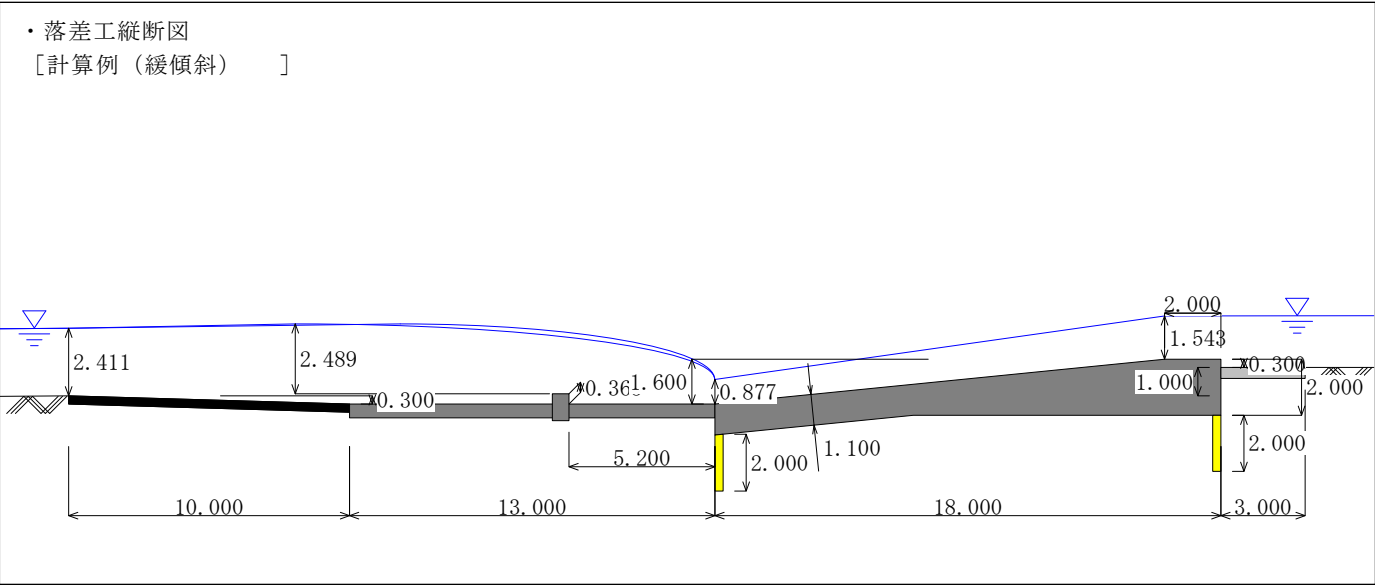


● ブロック重量の検討画面

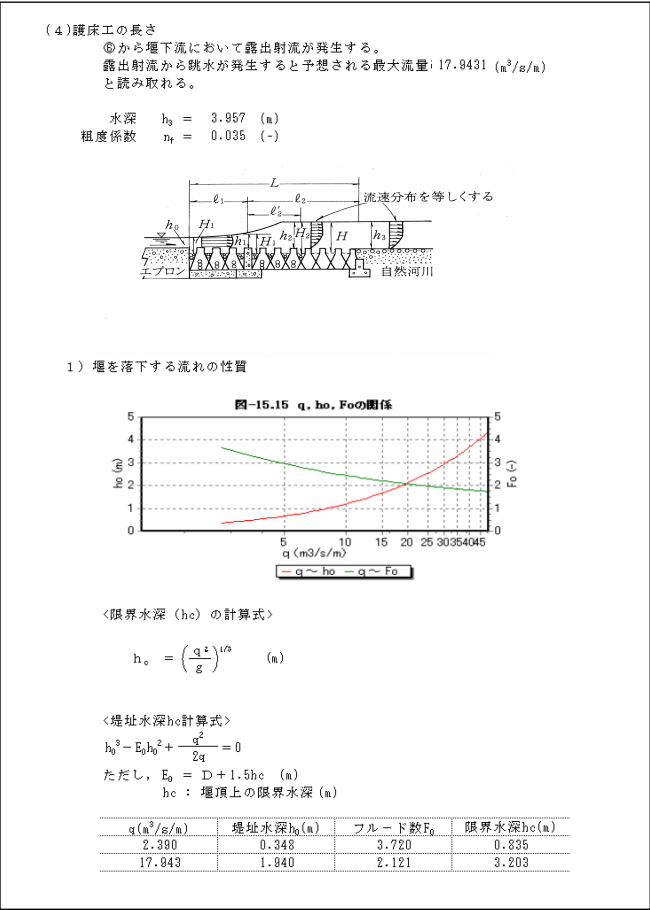


水理計算ソフト「**奔流**」 落差工の設計 書類出力例

●縦断面図



●水理計算部－護床工の長さ(土地改良事業計画)



●構造計算－安定計算書類(エンタープライズ版)

